

## 「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 秋山区

日 時 平成 20 年 7 月 3 日(木) 19:00～21:02

場 所 秋山公民館

出席者 (市 民) 23 人

(執行部) 13 人

井上市長、平島副市長、關教育長、石橋総務部長、  
三笠協働のまち推進担当部長、関岡市民生活部長、  
木村建設経済部長、白石議会事務局長

(事務局) 今泉経営企画課長、小嶋広聴広報係長、高原主任主査、  
大藪協働のまち推進課長、諫山地域コミュニティ推進  
係長

会議内容 ( 進行：今泉経営企画課長 )

- |   |                             |             |
|---|-----------------------------|-------------|
| 1 | 開会あいさつ(経営企画課長)              | 19:00～      |
| 2 | 区長あいさつ(区長)                  | 19:03～      |
| 3 | 市長あいさつ(市長)                  | 19:05～      |
| 4 | 市職員自己紹介(経営企画課長)             | 19:23～      |
| 5 | 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) | 19:25～      |
| 6 | 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長)<br>(別紙) | 19:42～      |
| 7 | 閉会あいさつ(副市長)                 | 21:00～21:02 |

	質問・意見等	市長回答
意見 1	<p>秋山公園の隣地を約 200 坪ほど公民館用地として買収するように要望していた。是非この場を借りて回答してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>買い上げの要望については、私も現場を見ました。地域コミュニティづくりをするうえでも核となるのが公民館ですが、秋山区は、駐車場、広場が狭隘です。この件については、年度途中の補正予算ではなく、事前調査をし、当初予算で補助金を検討すべきと考えます。要望は承知しておりますが、もう少し時間を頂戴したいと思います。</p>
	<p>太宰府市は学園都市でありながら、五条駅から学園通りがお粗末である。誰が見ても学園都市と見えるような開発ができないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>ご指摘のとおりと思います。五条駅からの状況については、課題が大きく早くから取り組む必要があると考えております。今、地域再生事業という事業が平成 19 年から 23 年の 5 ヶ年で 13 億円の事業認可を受けました。高雄中央通線などがあります。その中に五条、学園通りの路線は入っていませんが、必要性はあると考えています。特に西鉄五条駅への部分は、歩道もありませんし、2、3 年前に計画したが総合的な部分の中で凍結しています。</p> <p>複雑な交差点でもありますし、部分的でなく総合的に考える必要があります。</p> <p>近いうちに軌道にのるような形で計画したいと考えています。</p> <p>また、大学のキャンパスネットづくりの中で幹部の皆さんとの協議会がありますが、学生さんが歩いて大学まで行くような仕掛けは必要と考えております。現在、スクールバスで通学しておられますが、経済効果からして</p>

		<p>も楽しく通学していただけるよう整備したいと思います。整備には時間がかかりますが、行政としても課題として捉えておりますので、何らかの形で道筋をつけて行きたいか思っております。</p>
<p>意見 2</p>	<p>平成 20 年度予算の一般会計に公債費が占める割合は 16.7%となっている。年々歳入が減って、年々公債費が増えている。平成 20 年度末の市債残高が 208 億となっている、少子高齢化社会の中返済の見込みはあるのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>財政問題であります。平成 17 年度の市債残高は、247 億 3 千 1 百万円ほどありました。平成 18 年度は 238 億 1 千 6 百万円、平成 19 年度は 219 億 6 千万円、平成 20 年度は予算ベースで 208 億 7 千 3 百万円となる予定です。</p> <p>それぞれ平成 17 年度から平成 18 年度は 9 億円の減、平成 18 年度から平成 19 年度は 18 億円の減、平成 19 年度から平成 20 年度は 10 億円減となる予定です。平成 17 年度から 20 年度は 40 億ほど減る予定です。これは財政の健全運営に向けて身の丈にあった行政運営を行っております。</p> <p>平成 18 年度で佐野区画整理事業などの大型事業が完了したため、平成 20 年度予算も 180 億円ほどになっておるのもその部分が減ったためです。</p> <p>そして市債残高の中には市の特性である史跡地の買い上げが含まれています。毎年 7 億から多いときで 8 億ほど買い上げを行っております。これは後年度に 95%の国からの補助金で実施しており、市民生活に影響はありません。この部分については、市民のための多目的広場として整備するなど有効活用を検討しています。</p>

		<p>こういった状況の中、今現在支払っている公債費は31億～32億ですが、平成24年度には19億～20億となる予定です。</p> <p>公債費については、パンクすることはありませんということをおし上げておきたいと思います。</p>
	<p>定年して7年になるが、国保税が高い。福岡市と太宰府市が高いと言われている。今年65千円ほど上がった。介護保険料も足すと50万円近くになる。なんとかならないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>国保税については、医療費によって税額が変わってきます。「料」と「税」がありますが、多くの自治体においては、地方税法において税で課税しております。</p> <p>国保会計において、予算額で医療費は50数億となっておりますが、市の方からは法定持ち出し以外は出来ません。そういった意味から今所得を有している方については、高くなっている部分があります。</p> <p>後期高齢者の分は福岡県下で動いております。医療費が仮に下がればそれに見合った形で税率も変動しますが、当面現状から言えば医療費が高い現状がありますので、個々の状況についてはお聞きしたいと思いますが、止むを得ないと考えております。</p> <p>市民の方が健康になっていただいて、人生を謳歌していただく施策を実施し、結果として医療費が下がればと考えております。ただ、病院の重複受診は避けていただきたいと思います。</p>
意見3	<p>高齢者医療の話聞いたなかで、去年が1億5千万の赤字、一昨年が7千万の赤字と聞いた。高齢者が元気だったら要らない費用である。それで、元気な高齢者を支援するため、市の2台あるマイク</p>	<p>(市長)</p> <p>平成19年度の国保会計はご指摘のとおり赤字でした。高齢者医療と国保で共通しているのは、医療費の動向によって税額が決まってくることです。</p>

	<p>ロバスを貸してほしいと申し出たら、何ヶ月間も全く返答が無く、最終的に広報で「バスは貸せない」との返事があった。老人会などで使いたいのので貸してほしい。高齢者が元気であるために市の協力が欲しい。</p>	<p>ご指摘のようにそのためには市民の皆様が元気になっていただくことが大事で予防に力を入れた行政をしていきたいと考えます。総合行政の中でいかに健康に生き生きと暮らしていただくかの取り組みです。歩こう会など日常の中で健康になっていただきよう市は支援することが大事と思います。</p> <p>皆さんがどこかに出かけるときに市が支援することは役割のひとつと考えております。今まで担当が貸せないというニュアンスで言っているのは、使用目的があるためで、時代の変化の中で必要であれば拡大解釈を行い使えるよう見直すことが今からの行政は必要と思います。何れにしましても市民の皆さんが元気になるのが一番です。</p>
<p>意見 4</p>	<p>御笠川沿い、市民も森など草がボウボウで整備されていない。財政状況が厳しいのも分かるが、ボランティアを募るなど、みんなできれいなまちづくりはできないか。市庁舎のまわりはきれいである。毎朝ゴミを取っているボランティアグループもある。また御笠川の中にも草が生えており、堤防決壊の危険がある。きれいにしてほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>草刈については、個人的に、また区の中でなど、多くの方の善意によって行ってもらっています。ありがたいと思っています。</p> <p>商店街の皆さんも定期的に沿道を清掃していただいています。今、地域コミュニティづくりの中で、そういったシステムを提唱しています。</p> <p>市職員に中にも各自、草刈機を持ってきて 10 人程で公園の草刈ボランティアを行っています。その気持ちを大切にしたいと思っています。これは自分の街を愛することであり、若い人から高齢者まで、気運を時間がかかっても醸成していくことが、地域力ということにつながっていくと思います。</p>

		<p>御笠川については、色んな昆虫等が生息しています。ある一定程度、水害や人災にならないような浚渫は県の土木事務所で行っていますが、生態系の保護の意味合いがあることについてご理解いただきたいと思います。</p> <p>平成 15 年の災害があり、御笠川は倍の広さに広がっています。平成 15 年の災害と同規模の災害でも耐えうると思います。また、コミュニティ無線も整備し、有事の際の情報提供を行うようにしています。</p> <p>御笠川については、そういった側面があるということを理解して頂き、健康になっていただくことの支援は行政がすべきで、不快の念の無いように草刈も検討していきたいと思います。</p> <p>またボランティアの誘いがありましたら積極的に参加していただきたくご協力をお願いします。</p>
意見 5	<p>公民館近くの土地について、こちらに居住していない人の宅地に草が生え、防犯上も大変危険である。市の所有地もある。市から指導できないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>空き地の草刈につきましては、早い時期から「草刈条例」があります。市の環境課で所有者を調べ指導しております。</p> <p>指導に応じない場合は、市で草を刈って費用を請求しております。そのような場所がありましたら、区長を通して市へご連絡頂きたいと思います。</p>
意見 6	<p>職員数が 360 人ぐらいと聞いているが、その内、管理職が 60%で、一般職が 40%と聞いた。どういうことか。</p>	<p>(市長)</p> <p>平成 9 年度では職員数が 412 名でしたが、平成 20 年度で 345 名になりました。団塊の世代の大量退職が始まっていますが、4・5 年ほど職員採用をしていませんでした。経常経費の中で人件費の比率が 30%を占めています。</p>

		<p>職員に対して、給与の減額はしないかわりに、一人一人が生産性を高めることを申しております。しかしながらどこまでも採用しない訳にはいきませんので、平成 20 年度には 9 名ほど採用試験を行います。管理職については、機構改革を行うにより、同質集中を行い、課の数などを減らしました。</p> <p>今後も行き、目的に応じて、絶えず変えていく必要があると思います。類似団体に比べても少ない職員数になっています。市役所の総合窓口を委託したり、市長車の運転、学校給食、保育所等も民間委託しており、可能な限り効率的な市政運営を行っております。</p>
	<p>九州国立博物館が出来たときに、水城駅から国博まで「リトルバス」が運行されると新聞にあった。動いていないがどうなっているのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>このことについては、今西鉄バスが運行しております。平成 21 年 4 月からは東観世、高雄についてバスを走らせる予定です。東観世については、道が狭いので小さなバス言わばタクシー的なものにするかどうか検討中です。</p> <p>また、湯の谷についても高齢者の方が多くなってきております。若いとき市に貢献して頂いた高齢者の方が一人で行動できるような支援をしていく必要があると思います。いろんな考え方の中で皆様の希望がひとつでもかなうよう検討しています。</p>
	<p>大分県の 2 つの町で公用自転車が導入されている。ガソリン代も高騰しているので、太宰府市でも導入してはどうか。</p>	<p>(市長)</p> <p>放置自転車を利用するなど、庁内においても同様の提案がなされております。再度持ち帰って検討したいと思</p>

		<p>います。ガソリン高騰の折、的を得たご提言だと思います。</p>
	<p>中学生に尋ねたところ、給食が無いと聞いた。給食を行ってはどうか。</p>	<p>(市長)</p> <p>教育の分野については、力を入れてやっております。今年から耐震工事も行っております。中学校の給食については、希望をとっての弁当給食を提供することをしています。</p> <p>私は、お弁当を持って親が学校にやることが基本と思っています。家庭の事情でどうしても作れない状況の場合そういった制度を活用して頂くことにしています。</p> <p>また地産地消を推進したいと考えます。障害者の方のためのパン工房を支援し、そこで作られたパンを学校給食に提供するなどのサイクルを作って実現していきたいと思っています。</p>
	<p>ふれあい懇談会を3年に1度ぐらい開催してほしい。</p>	
<p>意見7</p>	<p>お金を使う話ばかりが出た。お金が足りないから市民も一緒になって協働のまちづくりとの提案である。そのために十数年前からそのような流れでどの自治体も活性化を図っている。一番分かりやすいのが観光振興で、太宰府市は観光についてはかなりの集客力があるといえる。大企業が無い太宰府市では、財政、経済活動に仕掛けが必要である。国立博物館ができてどれだけの効果があったか不明である。協働のまちづくりのための市として目的達成の具体策が何もない。どの市町村もコンサルに頼んで計画書を作成しているが、作成するだけで終わっており、その後の住民参加が出来て</p>	<p>(市長)</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。参考にできるところと違うところがございます。大筋としての的を得てあると思います。大切にしていきたいと思っています。私は必ずしも歳出の面だけをお話しているわけではありません。身の丈にあった行政を行っていきたいと思います。</p> <p>太宰府市においては、工場の誘致などは出来ません。それでも太宰府は誇れる文化遺産があります。</p> <p>経営者としては歳入増を図る必要があります。例えば佐野区画整理事業により税収が増えております。以前は</p>

<p>いない。地域コミュニティを提唱し、住民参加を求めるのであれば、具体的に何をどうしたいのか、例えば住民の声がほしいならほしいと示してほしい。具体的なアクションが無いと実現しない。特に人材は貴重な財産であるので、地域で活用するが望まれる。先程出されたバスのような役人が責任逃れで考えたような条件付の支援策はいらない。現状にあった支援策でないと意味がない。</p>	<p>問題となっていた水問題も今は人口9万までは大丈夫になり、市内、特に西地域で住宅建築が進んでおります。</p> <p>歴史と文化の環境税も全国に類を見ない形で6,800万円入ってきております。これも地方分権の中、職員が知恵を出したものです。貴重な財源として継続していきます。それ以外にも観光の中で収入を上げていくことが大事だと思っています。</p> <p>九州国立博物館が建設されて、500万人の来館者があっており、間接的に経済効果につながっています。コンサルに委託した計画も実行力が大切です。現場主義含めて職員皆で考えております。</p> <p>協働のまちづくりは、私どものやるべきことを住民に転嫁しているのではありません。一緒になって今から能動的にまちづくりをしていただき、市はサポートをして行きたいと思っています。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------